

令和8年度 第1回 由比結協議会が開催されました！

6月5日(金)に由比中学校で、令和8年度 第1回 由比地区園小中一貫教育由比結協議会が開催されました。

1 令和8年度 協議会のテーマ

「よりよい由比地区小中学校の開校にむけて」

令和10年度の施設一体型小中一貫校開校にむけて、由比の子どもたちの育てたい姿を、子どもたち、保護者、地域、教職員で共有し、園小中一貫教育目標を決めて行きたいと考えています。

由比の子どもたちの育てたい姿・園小中一貫教育目標を決めていく

資料2

子ども・保護者・地域・教職員の声を大切にし、みんなでつくる「由比らしい小中一貫校」

子どもの意見(例)



- 楽しく安心して過ごせる学校にしたい
- 友達と仲よく助け合える学校にしたい
- いろいろなことにチャレンジしたい
- 自分の夢や将来に向かって学びたい

保護者の意見(例)



- 安心・安全な学校にしてほしい
- 思いやりやマナーを身につけてほしい
- 学力とともに生きる力を育ててほしい
- 家族や地域とのつながりを大切にしてほしい

地域の意見(例)



- 地域の魅力を大切にしてほしい
- あいさつや思いやりを大切にしてほしい
- 郷土を誇りに思える子になってほしい
- 地域に貢献できる人になってほしい

教職員の意見(例)



- 子どものよさを伸ばし、可能性を育みたい
- 主体的に学び続ける力を育てたい
- 人とのつながりを大切にする心を育てたい
- 9年間の学びのつながりを大切にしたい



共通するおもしろい・大切にしたい価値
由比らしさを見つけ出す

キーワード(例)

・子どもまんなかの学校・一人一人が輝く学び・主体性・挑戦・読書力・伝える力・たくましさ・思いやり・協働・地域への誇り・地域貢献・創造 など

自ら学び、進んで行動し、他と協調できる15歳 ※令和8年の目標

由比の子どもたちの
育てたい姿
(学校教育目標)

目指す
子どもの姿
(例)



自ら進んで考え、学び
続ける子



自分も相手も大切に
して、進んでかわる子



自分らしさを発揮し、
挑戦する子



ふるさと由比を愛し、
未来に貢献する子

由比らしい
小中一貫校の開校



2 協議会の流れ

第1部【全体会①】

- (1) 会長あいさつ
石切山政和連合自治会長
- (2) 任命状交付
- (3) 統括校長あいさつ
望月由比小校長
- (4) R8由比結学説明
岡島コーディネーター
- (5) 基調提案
長倉守 岐阜大学大学院
教育学研究科 教授

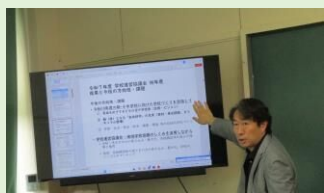
第2部【分散会】

- ① 学校評価部会
(前半) 評価指標について
(後半) 共通テーマについて
- ② 学校支援部会
共通テーマ
・開校する小中学校でどのような子どもを育ていきたいか。
・ご自身の組織を生かしてできる由比結学に関すること

第3部【全体会②】

- (1) 分散会報告
- (2) 指導講評
長倉守 教授
- (3) お礼・終わりのあいさつ
佐々木 由比中校長

3 協議会より① ～基調講話



令和7年度の学校運営協議会について

○成果として

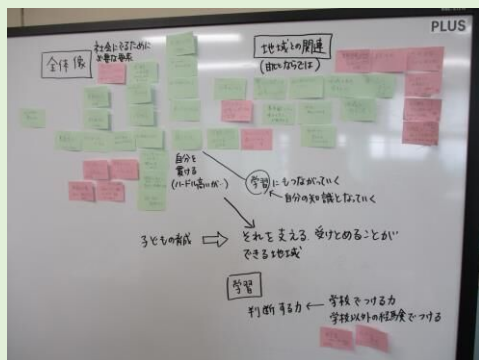
・軸(核)となる「由比結学」の充実など、学校から提示される協議の論点をもとに充実した議論が展開された。

○今後の方向性として

・令和10年度の小中学校開校に向け、学校運営協議会や地域学校協働のしくみを活用しながら、めざす子どもの姿や学校像を共有し、地域とともに学校づくりを進めていく。

4 協議会より② ～分散会

分散会では、付箋に皆様のご意見を書いていただき、カテゴリー別に分類していきました。共通の思いや、つながりが可視化されました。



☆「どんな子どもを育てたいか」についてキーワードをまとめると、以下ようになります。

- ①「主体性」自ら考える・行動する・挑戦する
- ②「共生・コミュニケーション」聴く力・伝える力・思いやり・協力・協働
- ③「自己実現」自己肯定感・好奇心・夢や目標・粘り強さ・たくましさ
- ④「ふるさと愛・社会参画」郷土愛・地域理解・地域貢献・社会で活躍する力



☆「ご自身の組織を活用してできる由比結学に関すること」について、ポイントをまとめると以下ようになります。

- ①異学年交流・社会性の育成 ・年齢の異なる子ども同士が学び合える場の設定など
- ②地域体験活動の充実 ・農業体験など、地域の特色を生かした体験活動の実施 など
- ③ボランティア活動への参画 ・地域のボランティア活動へ参加する機会の創出など
- ④地域人材の活用 ・由比の歴史や文化、自然、産業に詳しい方から学ぶ機会の設定
- ⑤子どもの活躍を地域へ発信 ・子どもと地域住民が相互に学び合う場づくりなど

5 協議会より④ ～指導講話

由比には地域の人々が持つ豊かな知恵や経験、多様な人材という大きな財産がある。その力を見える化し、学校と地域が協働して「由比結学」を創り上げることで、全国に誇れる小中一貫校を実現してほしい。

新しい取組を進める際には、地域の負担が大きくなりすぎないことや現在の活動を大切にしながら発展させることなど、無理なく継続できる仕組みを考えながら進める必要がある。

学校統合や少子化への対応は全国共通の課題である。その中で、「地域と学校が協働して新しい教育を創る由比モデル」が実現できれば、全国の地域や学校に希望や勇気を与える取組になるだろう。